

研究課題番号	3MF-2201
研究課題名	循環経済・脱炭素社会シナリオの SEEA/SDGs による物的・貨幣的な定量的評価
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	横浜国立大学
研究代表者名	氏川 恵次

1. 委員の指摘及び提言概要

物質・エネルギーのストック・フローデータに基づき、国際統計基準の環境経済勘定 (SEEA) に準拠して統計フレームワークを作成すること、供給使用表・産業連関表を推計し静的なシナリオ分析を実施すること、また SDGs 目標対応の動学的応用一般均衡モデルによって物的・貨幣的な定量的評価を行うこと、さらに、具体的な対象2地域(兵庫県・神奈川県)でリサイクル、生産および廃棄物等に関する定量的評価を実施することを目標としている。これまでの研究で、大気排出、エネルギー、物質循環、廃棄物各勘定に関する部門別データを整備し、地域版 SEEA のパイロットモデルの作成とシナリオ分析への応用が試みられた。この中間成果がマクロレベルでの資源循環性評価に活用され得るものとして今後の進展に期待が持たれるという評価となった。今後は、得られた成果と政策への活用可能性についてより具体的かつ明瞭に示すこと、および査読付き論文の発表を期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：S